

一般社団法人日本疫学会 2024年 疫学専門家認定制度 更新申請要項（概要）

日本疫学会は会員の知識と技量を評価、認定し、社会に貢献する疫学研究を推進できる人材を養成することを目的として、2019年に疫学専門家認定制度を発足しました。本制度で認定する疫学専門家は**疫学専門家**と**上級疫学専門家**です。疫学専門家の認定は**疫学専門家認定制度に関する細則**に従って審査されます。

疫学専門家認定の更新時には、本要項に記載する申請書類を用いて審査を行います。この要項に沿って、不備のないよう注意深く申請書の作成をお願いいたします。

※今回の更新申請の対象者は、認定有効期間が2020年4月1日からの方です。

1. 認定資格

(1) 日本疫学会認定疫学専門家

疫学研究を分担して実施できる人

(2) 日本疫学会認定上級疫学専門家

疫学研究の主導やコンサルテーション、疫学者の育成・指導ができる人

2. 更新

疫学専門家認定は、**5年ごと**にその更新を受けなければ失効します。

更新要件は、疫学専門家、上級疫学専門家ともに、前年度までの会費を全納しており、**過去5年間で100ポイント以上**を得ていることとし、このうち、別表2の生涯学習活動については、**最低25ポイント以上かつ3回以上参加**していることとします。生涯学習活動のポイントに加え、別表1、3、4の項目をどのように組み合わせて算定しても構いません。

※上級疫学専門家保有者は、上級疫学専門家のみ更新となります。

※休会期間は疫学専門家資格を停止し、休会期間終了後、疫学専門家資格認定期間（5年間）のカウントを再開します。

※再認定制度あり。（認定期間終了後5年以内。ただし、再認定の有効期間は、認定の有効期間が終了してから5年間となります）

https://jeaweb.jp/files/about/9_ekigakusenmonka_20220126.pdf

3. 審査スケジュール(予定)

(1)疫学専門家

- 1) 申請期間 2024年8月～9月
- 2) 書類審査 2024年10月～11月
- 3) 発表 2024年12月～2025年1月

(2)上級疫学専門家

- 1) 申請期間 2024年8月～9月
- 2) 書類審査 2024年10月～11月
- 3) 発表 2024年12月～2025年1月

4. 申請書類と申請方法

(1)申請書類

【必須書類】

- 1) 申請書・経歴（様式1、PDFファイル）
- 2) 研究業績書（様式2、Excelファイル）
- 3) 審査料の振込証明書
- 4) 生涯学習活動に関する演題発表の抄録・参加証等

【必要に応じて提出するもの】

- 5) 論文（研究業績書「1.疫学研究に関する論文業績」に記載した論文のPDFまたはZIPファイル）
- 6) 疫学研究の主導に関する資料（上級疫学専門家のみ）
- 7) コンサルテーションの対応に関する資料（上級疫学専門家のみ）
- 8) 疫学者の育成・指導活動に関する資料（上級疫学専門家のみ）

※ 申請書類に関する注意事項

- 4) 学術総会およびセミナーについては、参加証の提出が必要ですが、参加申込受付メールのコピーでも結構です。演題発表した場合には、証拠書類（抄録等）を必ず添付してください。
- 5) 研究業績書（様式2）「1. 疫学研究に関する論文業績」の対象期間は、過去5年間（2019年8月1日以降）です。前認定申請時に記載した業績・活動等を再度提示することは可能です。
- 6) 研究の名称、助成元、研究班構成、概要がわかる資料を数ページで抜粋して添付してください。研究報告書を添付する場合は、例えば、表紙と総括研究報告の1ページ目など、必要事項がわかるページを抜粋して添付してください。なお、それらがわかる記載がされているホームページのURL（アドレス）を研究業績書に記載していただければ、添付していただくなくても結構です。
- 7) 謝辞への記載または共著者としての参画の場合、それが確認できる論文を添付してください。研究班への疫学担当者としての参画の場合は、上記の6)と同様のものを添付してください。
- 8) 修士または博士の学生の主任指導、補佐的指導については、そのことがわかる学位申請要旨

等を添付してください。また、疫学に関する授業、講演、セミナーの講師については、シラバス、講演やセミナーのチラシや次第等を添付してください。

※日本疫学会への貢献活動については、資料の添付は不要です。

※ ファイル名の付け方

ファイル名の頭には、【会員番号の末尾4桁の数字】 - 【申請書類の項目番号】(p.3参照) - 【連番(同じ項目に複数のファイルがある場合)】を付けてください。最後に氏名のローマ字(小文字)を付けて下さい。

ファイル名の例

0099-01-reiwataro.pdf

0099-02-reiwataro.xlsx

0099-05-1-reiwataro.pdf 0099-05-2-reiwataro.zip

(2) 申請方法

更新を希望する方は、【申請方法の詳細】をよくお読みいただき、申請書類を**学会ホームページの日本疫学会認定疫学専門家 電子申請システムからアップロード**してください。研究業績書については Excel ファイル、その他は PDF ファイルでアップロードしてください。申請書類の4)～8)の各区分で複数のファイルがある場合には、区分毎にひとつの ZIP ファイルにまとめて、アップロードしてください。

申請の際には、この申請要項の末尾にある「申請書類 チェック表」に基づき、申請書類に不備がないかを必ず再確認の上、申請の完了を行ってください。

電子申請でのみ受付を行います。何かご不明な点がありましたら、日本疫学会事務局までお問い合わせください。

1) 申請方法 <http://senmonka.jeaweb.jp/application/index.html#houhou>

(【申請方法の詳細】、電子申請システムへのアクセス方法)

2) 問い合わせ先 jea@jeaweb.jp

(3) 認定審査料

更新審査料は1万円です。

申請にあたって更新審査料を下記口座に振り込んでください。

みずほ銀行 本郷支店 (普) 4 1 3 7 3 1 2

一般社団法人日本疫学会 シヤ) ニホンエキガツカイ

※振込み時には名前の前に会員番号(末尾4桁の数字)を記入してください。

5. 申請書・経歴の記入要領

様式1に記入して提出してください。

(1) 申請書

疫学専門家と上級疫学専門家のどちらに申請するか、文字の囲み線、または○で選択してください。

(2) 日本疫学会会員歴

会員専用ページの「登録内容確認・変更」画面で入会日を確認の上、更新申請日時点における会員歴を記入してください。

学部在籍期間・休会期間を除きます。学部在籍期間であっても、社会人学部学生として、その期間も疫学研究に従事していた場合は含めることができます。

(3) 学歴

大学または医療系資格を取得した専門学校入学以降（学校名・専攻名）について在籍中の期間を西暦で記入してください。社会人学生だった場合には、その旨を付記してください。

取得学位がある場合にはそれも記入してください。

記入例：大学

入学/卒業（年月～年月）	学校名・専攻名・取得学位など
1981年4月入学 ～1987年3月卒業	〇〇〇医科大学・医学部・医学科、学士（医学）取得

記入例：専門学校

1992年4月入学 ～1993年3月卒業	〇〇〇県衛生学院保健師コース、保健師国家試験受験資格を取得
-------------------------	-------------------------------

記入例：大学(社会人)

2002年4月入学 ～2009年3月卒業	〇〇〇大学教養学部、学士（学術）を取得、社会人学生
-------------------------	---------------------------

記入例：論文博士

2014年9月取得	博士（医学）を〇〇〇医科大学大学院より論文博士として授与 （2008年10月～2014年9月 〇〇〇医科大学大学院研究生）
-----------	--

(4) 免許・資格等

疫学専門家に関連する免許や資格を記入してください。

(例) 医師、保健師、日本計量生物学会試験統計家、日本臨床疫学会認定専門家、日本公衆衛生学会認定専門家、統計検定など

(5) 職歴

疫学専門家に関連すると考えられる職歴を記入してください。

6. 研究業績書の記入要領

所定の研究業績書（様式 2：Excel ファイル）に記入して提出してください。**研究業績の対象期間は、過去 5 年間(2019 年 8 月 1 日以降)です。前認定申請時に記載した業績を再度提示することは可能です。**また、いずれの項目においても、対象期間の全ての業績・活動等を記入する必要はなく、更新に必要なポイント分、またはそれを若干上回る業績・活動等を記入していただければ結構です。**更新に必要なポイントは、疫学専門家、上級疫学専門家ともに、過去 5 年間で 100 ポイント以上を得ていること(別表 2 の生涯学習活動については、最低 25 ポイント以上かつ 3 回以上参加していること)です。**なお、記載した論文は、複数の論文(PDF ファイル)をまとめて ZIP ファイルにした上で添付してください。

(1) 疫学研究に関する論文業績（別表 1）

- ・別紙の別表 1（本要項 11 頁）を参照して疫学研究に関する論文情報を研究業績書（様式 2）に記入してください。
- ・記入した論文の PDF または ZIP ファイルをアップロードしてください。
- ・論文業績は、査読付きの原著、総説について算定します。短報も算定して結構です。一方で、レターや論壇は算定できません。
- ・論文が複数ある場合は一つの枠内に 1 篇の論文情報を記入してください。
- ・申請者名に下線を引いてください。
- ・別表 1 を参照して、ポイント欄に該当するポイント、要件番号欄に要件番号を記入してください。また、基準記号欄については下記に記載している記号（A, B, C）を記入してください。
- ・掲載誌が Journal of Epidemiology の場合は各 5 ポイントを加点してください。
- ・当該論文が疫学研究かどうかについては以下の基準のいずれかに該当するものを疫学研究の論文とみなします。
 - 1) 疫学研究であるか否かの判断には、基準 A > 基準 B > 基準 C の順に優先して使用します。
 - 2) 疫学研究であるか否かについてなるべく疑義の小さい論文を優先して記入してください。

基準 A. 疫学研究であることが明らかな雑誌に掲載されている論文

(以下の雑誌)

- ・ Journal of Epidemiology (JE)
- ・ International Journal of Epidemiology (IJE)
- ・ American Journal of Epidemiology (AJE)
- ・ Annals of Epidemiology
- ・ Cancer Epidemiology
- ・ Epidemiology
- ・ European Journal of Epidemiology
- ・ Journal of Clinical Epidemiology

基準 B. 疫学指標を算定しており、かつ、分析単位が個人・地域等である論文

(例: 疫学指標)

- ・ 相対危険、寄与危険、罹患率、有病率、健康関連指標の平均値
(相対危険には、hazard ratio, prevalence ratio, odds ratio を含む)
- ・ 研究業績書の各論文の備考欄に、分析単位、使用した疫学指標を記入してください。
(使用した疫学指標としては、上記の例示の前に並んでいるものを優先して1つ記入していただければ結構です)

(例: 疫学研究としないもの)

- ・ 分析単位が、実験統制下でのマウス等の動物、細胞等のもの
- ・ 自施設及び関連病院でのケースシリーズ

(例: 典型的でないが疫学研究に含めるもの)

- ・ 動物を対象とした人獣共通感染症の有病率
- ・ 保健医療従事者や施設を分析単位としたある要因の該当割合の記述疫学や、その関連要因の分析疫学
- ・ 分析単位が眼や腕などで1人について2つのデータがあるもの

基準 C. 疫学方法論に関する研究論文

(例: 疫学方法論に関する論文)

- ・ 疫学研究倫理、疫学分析方法の開発

(例: 疫学研究としないもの)

- ・ 一般倫理、臨床倫理
- ・ 純粋な統計数理モデルの開発
(新しい数理モデルを疫学研究に即して記載した論文は疫学研究に含める)

記入例: 疫学研究に関する論文業績

著者名・タイトル・雑誌名・発行年・巻号・ページ数	ポイント	要件番号	基準記号	備考
Meiji A, Taisho B, Showa C, Reiwa D. Distribution of serum ○○○ levels of older men. J Prev Med. 20○○;33(3):133-233.	60	1	B	分析単位：個人 疫学指標：健康関 連指標の平均値

(2) 日本疫学会での生涯学習活動 (別表2)

- ・ 別紙の別表2(本要項11頁)を参照して、日本疫学会での生涯学習活動に関する情報を研究業績書(様式2)に記入してください。
- ・ 「生涯学習活動」に関しては、疫学専門家/上級疫学専門家とも25ポイント以上かつ3回以上の日本疫学会学術総会もしくは日本疫学会が主催または認定するセミナーへの参加が必要です。
- ・ 日本疫学会学術総会での演題発表については、発表者名・発表タイトル・開催地・開催年を記入する

とともに申請者名に下線を引いてください。

- ・日本疫学会学術総会や疫学セミナーへの参加については、総会名/セミナー名・開催地・開催年を記入してください。
- ・別表2を参照して、ポイント欄と要件番号欄に該当するポイントと要件番号を記入してください。
- ・国際疫学会 (International Epidemiological Association)が主催する World Congress of Epidemiology 等については、日本疫学会学術総会と同様に記入いただけます。
- ・記入した演題発表の抄録および参加証等の PDF または ZIP ファイルをアップロードしてください。
- ・ひとつの日本疫学会学術総会に付随して行われるセミナーはいずれか1件のみを算定できます。

学術総会に参加し、演題発表をした場合の書き方

- ・「日本疫学会での生涯学習活動に関する情報」と「要件番号」の欄
 <学術総会での演題発表>と<学術総会もしくは日本疫学会が主催または認定するセミナーへの参加>の両方に、同じ学術総会に関する演題発表と参加をそれぞれ記述してください。
 - ・「ポイント」欄
 <学術総会での演題発表>のみ所定のポイントを入力し、<学術総会もしくは日本疫学会が主催または認定するセミナーへの参加>の学術総会への参加は0と入力してください。
- ※同じ学術総会への参加と演題発表で重複してポイントをカウントすることはできませんが、学術総会参加回数も確認するため、このような記載方法をお願いしています。
- ・同一の学術総会において、参加・演題発表に加えてセミナーに参加された場合は、セミナー参加のポイントは独立してカウントできます。セミナー名を記入し、ポイント欄に所定のポイントを記入してください。学術総会参加（共同演者としての演題発表も含む）+セミナー参加は10ポイント、学術総会参加+筆頭発表者としての演題発表+セミナー参加は15ポイントです。

記入例:演題発表

番号	日本疫学会での生涯学習活動に関する情報	ポイント	要件番号
<学術総会での演題発表>			
次の行から記載してください			
1	昭和美咲, 令和翔太, 鈴木一郎, 大正太郎, 山田花子. ○○○の標準的な質問で評価した生活習慣と○○○の関連. 東京, 2019年	10	1

記入例:演題発表した学術総会への参加およびセミナーへの参加

<学術総会もしくは日本疫学会が主催または認定するセミナーへの参加>		ポイント	要件番号
1	第29回日本疫学会学術総会、東京、2019年	0	3
2	第29回日本疫学会学術総会：疫学セミナー、東京、2019年	5	4

(3) 疫学研究の主導、コンサルテーションの対応、疫学者の育成・指導活動（別表3）

- ・上級疫学専門家の更新申請者のみ記入してください。（必要な場合のみ）
- ・別紙の別表3（本要項11-12頁）を参照して疫学研究の主導、コンサルテーションの対応、疫学者の育成・指導活動それぞれに関する情報を研究業績書（様式2）に記入してください。
- ・別表3を参照して、ポイント欄と要件番号欄に該当するポイントと要件番号を記入してください。

(3)－1. 疫学研究の主導

記入例: 研究代表者

<疫学研究の主導>	ポイント	要件番号	備考（ホームページのURL（アドレス））
〇〇〇疾患の〇〇〇解明のための多施設前向き共同研究. 基盤研究（A）、研究代表者、20〇〇年4月～20〇〇年3月（3年間）	120	1	https://xxxxxxxxxxxxx

※ポイントは1年あたり40ポイントですので、3年間の場合は120ポイントになります。

記入例: 研究分担者

<疫学研究の主導>	ポイント	要件番号	備考（ホームページのURL（アドレス））
〇〇〇疾患に関わる〇〇〇開発. AMED、研究分担者、20〇〇年4月～20〇〇年3月（3年間）	60	2	https://xxxxxxxxxxxxx

※ポイントは1年あたり20ポイントですので、3年間の場合は60ポイントになります。

(3)－2. コンサルテーションの対応

記入例: 論文の謝辞への記載

<コンサルテーションの対応>	ポイント	要件番号
統計解析方法について助言し論文の謝辞に記載：Meiji A, Taisho B, Showa C, Reiwa D. Distribution of serum 〇〇〇 levels of older men. J Prev Med. 20〇〇;33(3):133-233.	10	4

※謝辞が記載されている論文の情報を記入してください。

記入例: 研究班への疫学担当者としての参画

<コンサルテーションの対応>	ポイント	要件番号
臨床医を中心にした研究班に疫学担当の研究分担者として参画: 種々の症状を呈する〇〇〇における〇〇〇の役割の解明とそれによる患者ケアの向上（研究代表者：鈴木一郎〇〇〇医科大学神経内科学教授）。厚生労働科学研究、20〇〇年4月～20〇〇年3月（3年間）	30	6

※ポイントは1年あたり10ポイントですので、3年間の場合は30ポイントになります。

(3)－3. 疫学者の育成・指導活動

- ・博士の学生の指導には、論文博士も算定します。
- ・補佐的指導には、副指導教員に選任されているなど指導する立場であることが大学院等において公式に記録されている場合のみに算定します。
- ・疫学に関する授業、講演、セミナーの講師はあなた自身が担当したものについて算定し、1時間未満の端数は切り捨てます。

記入例: 修士および博士の学生の主任指導

<疫学者の育成・指導活動>	ポイント	要件番号
博士課程学生の主任指導：鈴木一郎、令和花子	40	7

※主任指導のポイントは修了学生1人あたり20ポイントですので、2人の場合は40ポイントになります。

記入例: 疫学に関する授業

<疫学者の育成・指導活動>	ポイント	要件番号
〇〇〇県衛生学院保健師コースにて「疫学・保健統計」の講義・演習を担当：20〇〇年度～20〇〇年度、90分×15回、合計112時間	112	9

記入例: 疫学に関する講演、セミナーの講師

<疫学者の育成・指導活動>	ポイント	要件番号
〇〇〇県健康増進課主催研修会にて「統計分析」の講義を担当：20〇〇年6月11日（90分）、6月12日（120分）、20〇〇年6月10日（90分）、6月11日（120分）、合計7時間	7	9

(4) 日本疫学会への貢献活動（別表4）

- ・別表4（本要項12-13ページ）を参照して**日本疫学会への貢献に関する情報**を研究業績書（様式2）に記入してください。（必要な場合のみ）
- ・別表4を参照して、ポイント欄と要件番号欄に該当するポイントと要件番号を記入してください。

記入例: 学術総会における基調講演等の演者

日本疫学会への貢献活動に関する情報	ポイント	要件番号
学術総会における基調講演等の演者：日本疫学会企画「〇〇〇〇〇〇〇〇」、第〇〇回日本疫学会学術総会、東京、20〇〇年	40	1

記入例: 学術総会における一般発表の座長

日本疫学会への貢献活動に関する情報	ポイント	要件番号
学術総会における一般発表の座長：第〇〇回日本疫学会学術総会、一般口演（1）、福島、20〇〇年	20	3

※総会名、担当したセッション名、開催地、開催年を記入してください。

記入例:受賞

日本疫学会への貢献活動に関する情報	ポイント	要件番号
奨励賞受賞：第〇〇回日本疫学会学術総会、東京、20〇〇年	40	4

記入例:学会誌(Journal of Epidemiology)の査読

日本疫学会への貢献活動に関する情報	ポイント	要件番号
学会誌 (Journal of Epidemiology) の査読：20〇〇年 (2回)、20〇〇年 (1回)、20〇〇年 (2回)	25	7

※オンライン投稿・査読システムを導入した 2008 年 10 月 1 日以降に査読した回数をポイントとしてカウントしてください。

記入例:委員および代議員

日本疫学会への貢献活動に関する情報	ポイント	要件番号
広報委員会委員：20〇〇年 1 月～20〇〇年 2 月 (4 年間)	40	8

※ポイントは 1 年あたり 10 ポイントですので、4 年間の場合は 40 ポイントになります。

別表 1. 疫学研究に関する論文業績^{*1}

【新規の場合】疫学専門家：100 ポイント以上かつ 1 篇以上の指定データベース^{*2}に掲載されている雑誌^{*3}の原著もしくは総説の責任著者/最終著者/筆頭著者論文が必要、上級疫学専門家：200 ポイント以上かつ 3 篇以上の指定データベース^{*2}に掲載されている雑誌^{*3}の原著もしくは総説の責任著者/最終著者/筆頭著者/第二著者論文が必要。

【更新の場合】最低必要ポイントの定めはない。

項目	ポイント	要件番号
指定データベース ^{*2} に掲載されている雑誌 ^{*3} の 原著もしくは総説の責任著者/最終著者/筆頭著者/第二著者	60	1
指定データベース ^{*2} に掲載されている雑誌 ^{*3} の 原著もしくは総説の責任著者/最終著者/筆頭著者/第二著者以外の共著者	30	2
指定データベース ^{*2} に掲載されていない雑誌 ^{*3} の 原著もしくは総説の責任著者/最終著者/筆頭著者/第二著者	20	3
指定データベース ^{*2} に掲載されていない雑誌 ^{*3} の 原著もしくは総説の責任著者/最終著者/筆頭著者/第二著者以外の共著者	10	4

*1：掲載誌が Journal of Epidemiology の場合は各 5 ポイントを加点する。

*2：指定データベースとは、Web of science/Scopus/PubMed いずれかのデータベース

*3：日本語の雑誌を含む。

別表 2. 日本疫学会での生涯学習活動^{*4,*5}

（新規／更新、疫学専門家／上級疫学専門家とも最低 25 ポイント以上かつ 3 回以上の学術総会もしくは日本疫学会が主催または認定するセミナーへの参加^{*6}が必要。）

項目	ポイント	要件番号
学術総会での演題発表（筆頭発表者）	10	1
学術総会での演題発表（共同研究者）	5	2
学術総会への参加のみ（演題発表と重複する場合にはポイントは 0 となる）	5	3
日本疫学会が主催または認定するセミナーへの参加 ^{*6}	5	4

*4：日本疫学会または国際疫学会が主催する学会活動。

*5：ひとつの学術総会で複数該当する場合は、最もポイントが高い項目を選択する。

*6：学術総会に付随するセミナーは学会参加に加えて算定できる。

別表 3. 疫学研究の主導、コンサルテーションの対応、疫学者の育成・指導活動

【新規の場合】上級疫学専門家：計 60 ポイント以上、かつ疫学研究の主導、コンサルテーションの対応で各 20 ポイント以上が必要。

【更新の場合】上級疫学専門家のみポイント計上可能。最低必要ポイントの定めはない。

項目	ポイント	要件番号
<疫学研究の主導>		
公的研究費 ^{*7} の研究代表者（1 年につき）	40	1

公的研究費 ^{*7} の研究分担者（1年につき）	20	2
それ以外の研究の研究代表者（1年につき）	20	3
<コンサルテーションの対応>		
論文の謝辞への記載	10	4
論文の共著者としての参画 ^{*8}	10	5
研究班への疫学担当者としての参画（1年につき） ^{*9}	10	6
<疫学者の育成・指導活動>^{*9}		
修士または博士の学生の主任指導（修了学生1人につき） ^{*10}	20	7
修士または博士の学生の補佐的指導（修了学生1人につき） ^{*10}	10	8
疫学に関する授業、講演、セミナーの講師（1時間につき）	1	9

*7：日本学術振興会、厚生労働省または他省庁、日本医療研究開発機構（AMED）の研究費。

*8：同じ論文については、論文業績といずれかのみに計上できる。

*9：自らが研究代表者の場合は計上できない。

*10：論文博士を含む。

別表 4. 日本疫学会への貢献活動^{*4}

（新規／更新、疫学専門家／上級疫学専門家とも、最低必要ポイントの定めはない。）

項目	ポイント	要件番号
<学術総会もしくは日本疫学会が主催または認定するセミナー>^{*11}		
基調講演、教育講演、シンポジウム、セミナー等の演者	40	1
セミナーの代表企画・運営等	30	2
一般発表やシンポジウム、セミナー等の座長	20	3
<受賞>		
功労賞、奨励賞、Best Reviewer、Paper of the Year の受賞	40	4
一般発表における筆頭発表者としての受賞	20	5
一般発表における共同研究者としての受賞	5	6
<学会誌：Journal of Epidemiology>		
Original article や Review の査読 ^{*12}	5	7
<委員および代議員>^{*13}		
委員会の委員/WG のメンバー	10	8
代議員	10	9
<役員および委員長/WG 活動>^{*14}		
理事 ^{*15} /監事/学会事務局長//名誉会員//学術総会会長	50	10
委員長/WG 長//学術総会事務局長等	40	11
副委員長/副 WG 長//学術総会副事務局長等	30	12

*11：ひとつの学術総会またはセミナーで複数該当する場合は、最もポイントが高い項目を選択する。

*12：査読回数×5ポイントとする。

*13：各委員会等各1年あたり10ポイントとする。

*14：複数年、複数種類の場合も、最もポイントが高い項目を1つ選択する。

なお、*13 と重複して計上できる。

*15：理事長は 10 ポイント、副理事長は 5 ポイント加算する。